

本会は「競技力の向上」と「生涯スポーツの振興」の二大目標を基盤として計画された平成30年度事業計画に基づき次の事業を実施した。

I 競技力の向上

1 競技力向上対策事業の推進

平成30年開催の福井国体において、優秀な成績を収めるために、競技力の高い成年・少年種別の選手を対象に計画的・継続的な強化対策事業を積極的に推進した。

(1) トップアスリート育成事業

国民体育大会・全国大会等で活躍できる競技者の育成や、優秀なジュニア選手を発掘し、小・中・高等学校を通じた一貫指導体制の構築を図る事業を行った。

① ジュニア・少年・成年強化事業

国民体育大会実施競技の強化事業合計1137回(県内合宿165回、県外遠征323回、合同練習会327回、招へい試合10回、県外大会290回、体験・発掘22回)に係る補助を行い、県内トップアスリートの競技力向上を図った。

② スペシャルアスリートサポート事業

年間を通じて、国内外の遠征に係る旅費及び競技力向上に不可欠な経費等を24競技団体92名の選手に補助した。

③ トップレベル・スポーツクラブ活性化支援事業

トップレベルの競技力を有するスポーツクラブ19クラブに対し、競技力向上、ジュニアチームの育成・強化及び地域貢献活動事業に補助した。

④ ふるさと選手派遣事業

国民体育大会で優秀な成績を収めるため、全国で活躍する本県中学校、高等学校を卒業したふるさと選手を本県から国体に出場できるよう、国体県予選、近畿ブロック大会へ積極的に招へいし、16競技団体67名の選手に旅費の補助を行った。

(2) コーチスキルアップ事業

① トップ強化コーチ招へい事業

中央競技団体等の優秀な指導者・コーチ等を招へいし、高度な技術や戦略の習得に努め、県内指導者の資質向上とともに競技者の競技力向上を図った。

競技名	回数	指導者数	主な指導者(敬称略)
陸上競技	12	4	栗山佳也、下嶽進一郎、籠谷仁志 他
水泳	7	3	三富陽輔、山本成洋、大島明
サッカー	2	1	白井裕之
テニス	7	4	奥大賢、長尾克己、北村珠美 他
ボート	11	2	奥田貴史、岩井雄史
バレーボール	6	2	渋田理恵子、迫田さおり
ボクシング	2	1	林田太郎
体操	21	4	平尾友佳、唐津弥生、藤綱江津子 他
バスケットボール	3	2	古谷真人、勝俣啓介
レスリング	4	1	太田拓弥
セーリング	2	1	松永鉄也
ウエイトリフティング	3	1	五百蔵正和
ハンドボール	3	2	深見忠司、積孝也
自転車競技	26	1	河盛友紀
ソフトテニス	16	2	松本肇、永岡宏
卓球	2	2	牛谷有一、清水彩加
相撲	40	1	浦中淑帆
馬術	6	1	苅谷幸生
柔道	7	2	正木嘉美、竹村典久
ソフトボール	4	2	森真里奈、北山柚花
バドミントン	1	1	古財和輝
弓道	4	2	野中秀治、北嶋晋

ライフル射撃	5	1	篠原章宏
ラグビーフットボール	2	1	梅田紘一
山岳	8	2	米倉亜貴、奥井健吾
カヌー	8	2	尾野藤直樹、丸山一馬
アーチェリー	6	1	岡野邦夫
空手道	15	1	徳野修一郎
クレー射撃	7	5	熊山幸男、折原研二、片岡勝哉 他
なぎなた	15	1	大野京子
ボウリング	3	1	板倉奈智美
ゴルフ	1	1	松川武司
トライアスロン	4	32	竹内鉄平、庭田清美 他
合計	263回	60名	

② コーチレベルアップ事業

各競技における優秀な指導者の養成及び資質向上のため、「チーム和歌山コーチ塾」、「カテゴリー別研修会」等を開催するとともに、各種研修会に指導者を派遣した。

ア. 研修会開催による指導者のレベルアップ

実施した研修会	実施日時	参加者数
第24回チーム和歌山コーチ塾	平成30年5月27日	77名
第25回チーム和歌山コーチ塾	平成30年6月15・22・29日	62名
第26回チーム和歌山コーチ塾	平成30年12月1日	57名
第27回チーム和歌山コーチ塾	平成31年2月24日	89名
きのくにコーチ研修会	平成31年2月24日	14名

イ. 研修への参加による指導者のレベルアップ

- (i) 国立スポーツ科学センター・味の素ナショナルトレーニングセンター等への研修に9競技団体11名が延べ11事業に参加した。
- (ii) 優秀指導者のもとでの短期研修へ10競技団体11名が19事業に参加した。
- (iii) 公認指導者資格取得に対し、2競技団体2名に補助した。

③ コーチ派遣事業

本県のスポーツの競技力向上に資するため、次世代の強化を担う指導者を「きのくにコーチ」として任命。強化練習会及びチームの遠征や大会に帯同することにより優れた指導力を身につけた。21競技団体24名のきのくにコーチを延べ52回派遣した。

(3) ジュニア活性化推進事業

県内のジュニア期におけるスポーツ環境の充実により継続的、計画的にジュニアの競技力の向上を図ることができた。また、紀の国わかやま国体の会場施設を利用し、その施設環境に魅力を感じる等、次年度以降も事業の継続を望む声が多く届いた。さらに、県外から多くの関係者が訪れ、近隣の宿泊施設を活用する等、地域活性化に繋がった。

開催市町村	競技	期日	場所
橋本市	ソフトボール	1月12日(土)～13日(日)	橋本市立あやの台小学校 グラウンド・体育館
紀の川市	ハンドボール	2月2日(土)	貴志川体育館
岩出市	バドミントン	3月16日(土)	岩出市立体育館
海南市	バスケットボール	11月16日(金)～18日(日)	海南市総合体育館
那智勝浦町	レスリング	12月8日(土)	那智勝浦町体育文化会館

2 国民体育大会・近畿ブロック大会派遣事業

(1) 第73回(第74回冬季)国民体育大会近畿ブロック大会

和歌山県で開催された第73回(第74回冬季)国民体育大会近畿ブロック大会に、754名の選手団を派遣した。

回	期日	会場	実施競技	成績
第73回 大会	平成30年6月27日 ～8月26日	和歌山県 和歌山市 他	水泳競技(水球) 他 31競技	予選実施の32競技中 22競技37種別が通過
第74回 大会	平成30年12月1日 ～12月9日			

(2) 国民体育大会

福井県で開催された第73回国民体育大会に376名の選手団を、第74回国民体育大会冬季大会スキー競技会(北海道札幌市)に19名の選手団を派遣した。

回	季別	期日	会場	派遣競技	成績
第73回 大会	本 大 会	平成30年9月25日 ～10月9日 (会期前) 平成30年9月12日 ～9月17日 (水泳・ハンドボール・ クレー射撃)	福井県 福井市 他	陸上競技 他32競技	第73回国民体育大会和歌山県選手団成績一覧 男女総合成績 27位 天皇杯得点 912.5点 冬季大会20点(参加得点20点 競技得点0点) 本大会892.5点(参加得点370点 競技得点522.5点) 女子総合成績 36位 皇后杯得点 466点 【入賞競技】
第74回 大会	冬 季 大 会	平成31年2月14日 ～2月17日	北海道 札幌市	スキー競技	カヌー・フェンシング・自転車・ソフトテニス・レスリング・剣道・ボウリング・陸上・なぎなた・ソフトボール・水泳・ボクシング・クレー射撃・セーリング・卓球・山岳・弓道・相撲・ウエイトリフティング・ボート・馬術・ライフル射撃 【22競技】

3 スポーツ医・科学サポート事業

(1) ドクター・トレーナー派遣

本大会(福井)出場24競技に30名のトレーナーを派遣。また本大会に7名のドクターを選手団本部として帯同派遣。強化練習・合宿に35競技426名のトレーナーを派遣。

(2) マルチサポート

全国の強豪都道府県に競り勝ち、確実に得点を獲得するために、戦略的・包括的なサポート活動を実施。

- ① アンチ・ドーピング活動
- ② スポーツ歯科サポート
- ③ 女性アスリートサポート
- ④ スポーツ医・科学委員会の開催(2回)
- ⑤ 県アスレティックトレーナー連絡協議会の開催(会議2回、研修会2回)
- ⑥ 県スポーツドクター連絡協議会の開催(1回)
- ⑦ 競技団体スポーツ医・科学部会長会議の開催(1回)

(3) 医・科学サポート

げんき開発研究所による強化対象選手等を対象に医科学チェック(メディカルチェック、専門体力測定等)、医科学サポート(動作解析、栄養サポート、メンタルサポート、トレーニング指導等)を実施。

4 ドーピング防止研修会

国民体育大会の監督・選手384名を対象にドーピング防止に関する研修会を開催した。

5 所管施設管理運営

(1) マツゲンスポーツグラウンド

① 施設概要

ア. 敷地面積 17,035.02㎡(既借用面積12,226.12㎡)
 平成25年度に県有地を駐車場用地として県体育協会へ無償貸与 4,808.9㎡

イ. グラウンド面積 6,185.00㎡

ウ. クラブハウス 鉄筋造平屋建 155.52㎡

エ. その他

- ・人工芝:株式会社アストロ製のH2OZ ※透水性砂入り人工芝
- ・防球ネット高 8.0m
- ・器具庫 49.0㎡
- ・クラブハウスの会議室、更衣室、トイレの仕上げ材に紀州材を多用

② 平成30年度利用実績

グラウンド利用者数 延べ11,483名

会議室利用者数 延べ 875名

合計 延べ12,358名

(2) 和歌山県ライフル射撃場(平成25年度改修工事実施)

① 施設概要

- ・50m射撃場 鉄骨造平屋建 828.47㎡
 射撃棟(632.69㎡)、射座24(電子標的システム)、倉庫2
 標的棟(195.78㎡)

- ・10m射撃場 鉄骨造平屋建 956.22㎡
 射座26(電子標的システム)、機械室、会議室、倉庫
 トイレ(31.84㎡、男子、女子、障害者用)

② 平成30年度利用実績

射撃場利用者数 延べ 863名

(3) 和歌浦テニスコート

① 施設概要

平成25年度に県有テニスコートを県体育協会へ無償貸与

ア. 敷地面積 2,014.63㎡

イ. テニスコート(2面)面積 1,682.97㎡

ウ. 更衣室・シャワー室等 56.52㎡

エ. 駐車場 275.14㎡

② 平成30年度利用実績

テニスコート利用者数 延べ 4,732名

(4) 日高川町アーチェリー管理棟

① 施設概要

プレハブ造

6 諸会議の開催等

月	日	会 議 名	場 所
4	13	・日本スポーツ協会加盟団体事務局長会議	東京都
	18~19	・公認スポーツ指導者育成事業事務担当者会議	東京都
	27	・近畿2府4県体育・スポーツ協会会長会議	滋賀県
5	16	・近畿ブロックスポーツ少年団連絡協議会	兵庫県
	19	・県スポーツ少年団指導者協議会理事会・総会	和歌山市
	25	・都道府県スポーツ少年団事務担当者会議	東京都
	29	・県体育協会第1回定時理事会	和歌山市
	29	・県スポーツ少年団第1回本部委員会	和歌山市
6	2	・第1回日本スポーツ少年団委員総会	東京都

	9 15~16 15 17 22 22 29	・ 総合型地域スポーツクラブ和歌山県協議会総会 ・ 全国スポーツ少年団指導者協議会 ・ 県体育協会定時総会・臨時理事会 ・ ジュニアスポーツポーツフォーラム（旧少年団指導者全国研究大会） ・ 日本スポーツ協会定時評議員会 ・ 都道府県体育協会連合会第1回常任幹事会 ・ 近畿2府4県体育・スポーツ協会事務局職員会議	和歌山市 東京都 和歌山市 東京都 東京都 東京都 京都府
7	13 20	・ 近畿2府4県体育・スポーツ協会事務局長・次長会議 ・ 近畿ブロックスポーツ指導者連絡会議	京都府 奈良市
8	17 18	・ 近畿2府4県体育・スポーツ協会会長会議 ・ 県スポーツ少年団指導者協議会	和歌山市 日高郡
9	30	・ 都道府県体育協会連合会第2回常任幹事会	福井県
10	30	・ 県体育協会第3回定時理事会	和歌山市
11	1~2 2 22	・ 都道府県体育協会連合会中地区事務局長研修会 ・ 近畿ブロックスポーツ少年団事務担当者会議 ・ 近畿2府4県体育・スポーツ協会会長会議	富山県 兵庫県 大阪府
12	5~7 6 7	・ 都道府県体育協会連合会事務局職員研修会 ・ 近畿ブロックスポーツ少年団連絡協議会 ・ 全国スポーツ指導者連絡会議	茨城県 兵庫県 東京都
1	17 25 26	・ 県体育協会スポーツ指導者協議会 ・ 県体育協会財務委員会 ・ 県スポーツ少年団指導者協議会	和歌山市 和歌山市 和歌山市
2	1 13~14 19 20 25 28	・ 生涯スポーツ・体力づくり全国会議2019 ・ 近畿ブロックスポーツ少年団連絡協議会 ・ 県体育協会選手強化対策本部委員会 ・ 近畿2府4県体育・スポーツ協会会長会議 ・ 平成30年度SC全国ネットワーク総会 ・ 県体育協会スポーツ医・科学委員会	徳島県 兵庫県 和歌山市 京都府 東京都 和歌山市
3	2 7 7 18 19 19 20	・ 第2回日本スポーツ少年団委員総会 ・ 県体育協会第4回定時理事会 ・ 県スポーツ少年団第2回本部委員会 ・ 県体育協会臨時総会 ・ 都道府県体育協会国体連絡会議 ・ 都道府県体育協会連合会第3回常任幹事会及び総会 ・ 日本スポーツ協会臨時評議員	東京都 和歌山市 和歌山市 和歌山市 東京都 東京都 東京都

II 生涯スポーツの振興

1 スポーツへの参加推進

生涯スポーツへの参加機会を提供するため、各種スポーツ大会の開催や、総合型地域スポーツクラブを核とした事業を行った。

(1) 各種スポーツ大会

大会名	期日・会場	参加者総数	
第49回県スポーツ少年団 総合競技大会	H30. 6. 2～3	軟式野球	315名
	H30. 7. 7	柔道	196名
	H30. 6. 30～7. 1	バレーボール	491名
	H30. 7. 8	剣道	331名
	H30. 7. 7～8	サッカー	333名
	西牟婁地方	計	1,666名

(2) 各種スポーツ大会への派遣

大会名	期日・会場	競技種目	参加者数
日本スポーツマスターズ2018	H30. 9. 1～9. 2 北海道	水泳(他は北海道胆振東部地震により中止)	22名

2 スポーツクラブ等の育成

地域住民の日常的なスポーツ活動を推進するため、スポーツ少年団、地域スポーツクラブ・総合型地域スポーツクラブの育成を図った。

現在、県スポーツ少年団には、29市町村(H31.9.1現在)、494団、2,202名の指導者と7,342名の団員が登録し、活動している。また、総合型地域スポーツクラブについては、県内で44のクラブが設立し、14のクラブ・団体が設立に向けて準備している(H31.4.1現在)。

3 指導体制の確立

県民のスポーツに対する多様な欲求に応ずる指導体制を確立するため、スポーツ指導者養成講習会や、各種研修会を開催し、指導者の養成と資質向上を図るとともに、県指導者協議会を開催し、倫理規程等の審議を行った。

(1) 和歌山県スポーツ指導者養成事業

県内の公認スポーツ指導者の養成及び資質向上のための研修会を開催するとともに、スポーツ少年団の指導にあたる指導者の養成及び資質向上のための講習会を日本スポーツ少年団、県スポーツ少年団との共催で開催した。

名称	内容	期日	場所	受講者数
平成30年度 和歌山県 スポーツ指導者研修会	講演 「これからの日本に必要な言語教育」 「問いかけて伸ばすコーチング」	平成30年12月8日	打田保健福祉センター「ホール田園」	204名
平成30年度スポーツ指導者養成講習会兼スポーツ少年団 認定員養成講習会	地域住民のスポーツの生活化・定着化を促進するためのスポーツ指導者の養成及びスポーツ少年団活動に関する理論・技術についての講習会	平成30年9月15・16日 平成30年11月10・11日	和歌山市北コミュニティセンター 田辺スポーツパーク	104名

(2) 県内クラブ運営者を中心にマネジメント能力の養成及び日本スポーツ協会の資格を習得する検定試験を実施した。

名 称	内 容	期 日	場 所	受講者数
総合型地域スポーツクラブ関係者等研修会兼日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー養成コース	地域スポーツクラブとは クラブマネジャーの役割 クラブの作り方・運営 県内クラブ事例	平成30年7月 28日・29日	みなべ町生涯学習センター	受講者 43名 資格取得者 12名

4 スポーツ広報活動の推進

県民のスポーツに対する意識の啓発を図り、スポーツ活動を積極的に促進するため、スポーツに関する情報、資料を提供した。

- (1) 各種大会等年間行事予定、競技会成績等の資料提供
(平成30年4月～平成31年3月)
- (2) 本協会主催事業に関する広報
(平成30年4月～平成31年3月)
- (3) 機関誌「黒潮」(60号)の発刊
(平成31年3月)